

今年も学校創立40周年です 今年の総会は5月20日です

戦争のツメ跡がそこに残る昭和二十六年、私たちの母校は貧しくも希望に満ちたスタートを切りました。それから四十年、巣立った卒業生は三〇〇〇名を大きく超え、それぞれの社会で、職場で、家庭で大いに活躍しています。

その星霜とともにした同窓会「紅萌会」もまた今年第三十六回目の総会を迎えることにいたしました。母校創立四十周年という記念すべき年を、多数の参加者で盛り上げ、祝っていただきたいのです。

折しも鶴見緑地では「国際花と緑の博覧会」が開催され、日本全国から、いや世界各地からすでに数百万人の人びとが訪れて、国際色ゆたかな交流を繰り広げています。この半年間の会期中に、人と人、心と心の交流がさまざまなドラマを生み出すことでしょう。

まして私たちは学舎をともにした同窓生。何年何十年の歳月が流れても、あの青春時代の思い出が消え去ることはありません。母校に集えばみんな高校生。久しぶりに見るあの顔の顔、久しぶりに語り合うあの友の友、そしてお世話になった先生方とも、心ゆくまで交流の輪を広げていただきたいと思えます。

毎年五月の第三日曜日は同窓会デー。この日を心待ちにしている人たちのためにも、万障繰り合わせてぜひご出席ください。

紅萌会会報

年に一度「高校生に戻る日」です

ヤンチャ坊主も優等生も
オテンバ娘もマドンナも
懐かしの母校へ全員集合

- プログラム
- 午後十二時三十分受付開始
 - ① 紅萌会会長あいさつ
 - ② 学校長あいさつ
 - ③ 議事
 - 1. 活動・会計報告
 - 2. 新役員選出
 - 3. その他
 - ④ 学校へ記念品目録贈呈

「紅萌会」第三十六回総会のお知らせ

あなたが主役
わたしも主役
みんなが主役
会って楽しい
友だちの輪！

日時 五月二十日(日)午後一時開会
※十二時三十分受付開始ですので、ぜひ早目にお越しください。

会場 天王寺高校食堂
会費 三〇〇〇円



●創立四十周年への対策

既報のように、今年には学校創立四十周年にあたり、その記念事業をどうするか、役員・幹事会の大きな課題となっていました。

ご記憶の方も多いと思いますが、三十周年の際には学校へ記念品として視聴覚教材を贈呈、あわせて同窓会名簿を発行しました。その資金を調達するため、役員・幹事が日夜かまきまわり、同窓生のみならずにも、いふんご無理をお願いした苦い経験があります。

しかし今回は、六十万円強の手持ち資金がありますので、特別な寄付金集めはせず、この範囲内でまかなうことにしました。

●総会で記念品目録を贈呈

健全運営にメドがついたとはいえず、まだまだ同窓会の基盤は軟弱です。そこで今回は無理な記念事業は行わず、次の二項にとどめたいと思えます。

① 総会当日、学校に対し二十万円相当の記念品目録を贈呈します。その使途については学校に一任し、最も効果的に活用していただくよう申し入れていきます。

② カラオケセットを購入します。総会に出席された方にお貸付きのように、マイク設備として、また懇親会用として、カラオケセットを使用していますが、その費用が一回あたり一万数千円かかっています。そんなムダをなくすため、この機会に購入することにしました。もちろん、ふだんは学校の行事や集会にも大いに活用してもらいます。



●家族そろって出席を!!

「紅萌会」総会の特色は家族つれ、BF・GF同伴を歓迎していること。大人は正規の会費をいただきますが、子供さんは無料のうえにおやつ付き。花博も結構ですが、総会も格好の家庭サービスになります。

今年には四十周年記念総会ということで、新卒生も含め一五〇名の出席を見込んでいます。もちろん、あなたもその一人。思いっきり楽しくやりましょう。

財政的ピンチを切り抜け 同窓会の健全運営にメド

●年間約六十万円の収入

一昨年、同窓生のみならず年に年会費一二〇〇円のご負担をお願いしました。この結果約四〇〇名のご賛同を得、寄付金も含めて六三万七九四円が寄せられました。これによってすべての赤字を解消、健全運営の第一歩を踏み出すことができました。

続いて昨年度も続々と年会費、および寄付金が寄せられ、今年三月二十八日現在で六十万四四〇六円にのぼっています。

●さらに引き続きご協力を

年会費制度を導入して三年目を迎えました。同窓生のみならずには引き続きご協力をお願いいたします。会報の発行回数を増やしたい、新しい行事を挙行したい、学校や振興会への助成体制を固めたい等々、やるべきことは山積しています。そのためには、何よりも財政の確立が第一。同封の振込用紙を使って、なるべく早くご入金をお願いいたします。また多少にかかわらず、有志の方の寄付もお待ちしております。

「紅萌会」は同窓生みんなの心のふるさとです 今年も年会費の納入にご協力をお願いします

「紅萌会」が危機的な財政難におちいり、一時は存続不可能な事態に直面しましたが、同窓生の「紅萌会の灯を消さないで!!」という熱い思いに支えられ、おかげさまで健全運営のメドがたてられるようになりました。以下、紙上を借りて現状をご報告申し上げます。お礼に代えさせていただきます。

大阪府立天王寺高等学校定時制課程同窓会「紅萌会」
第35回総会 会計決算報告書

1990年3月28日

前年度繰り越し残高	367,821円
総会会費	219,800円
年会費～郵便振替(寄付含む)	604,406円
預金利息	1,680円
計	1,193,707円
懇親会食事代	170,223円
飲み物代	43,366円
記念品代	6,231円
事務用品	2,230円
運搬費(タクシー代)	4,340円
花束・謝礼	10,150円
カラオケ借用謝礼	6,700円
会報印刷代(発送業務謝礼含む)	315,000円
役員会経費	26,076円
計	584,316円

1990年3月28日現在の残高
1,193,707 - 584,316 = 609,391
609,391円

残高の保管 普通預金 609,391円
会計 稲葉貞夫

会報郵送料として学校会計より124,000円いただきました。

第34回総会 会計決算報告書

1989年5月19日

前年度繰り越し金	212,344円
総会会費	178,400円
年会費～郵便振替(寄付含む)	630,794円
預金利息	811円
計	831,239円
懇親会食事代	120,000円
飲み物代	41,000円
運搬費(タクシー代)	4,940円
事務用品	10,578円
カラオケ借用謝礼	6,900円
会報印刷費	280,000円
計	463,418円

1989年5月19日現在の残高
831,239 - 463,418 = 367,821
367,821円

会報郵送料として学校会計より120,000円いただきました。

編集後記

※まず、会報の発行がおくれたことを心からお詫び申し上げます。どうしたことか、今年には役員・幹事がそろって超多忙。ゴールデンウィークに入ってからようやく寸暇を得、発行・発送にこぎつけたら幸いです。

※それにつけても、同窓生の「紅萌会」に寄せる熱い思いには感謝感激。年会費を振込んでいただいた方はざっと四〇〇名。これは住所が判明している同窓生の約二十名に相当する。この熱情あるかぎり、「紅萌会」は不滅である。

※とはいえず、これで満足しているわけではない。本来の趣旨からいえば一〇〇%が望ましいのだから、ともかく今年は一〇〇%を目標に、一層のご支援・ご協力をお願いしたい。

☆三期 小林正雄、昭和六三年八月病死いたしました。いろいろお世話になりました。

妻 俊子

☆八期 後藤正洋、昭和六二年十月、肝臓ガンのため死去しました。生前のご厚情厚く御礼申し上げます。

妻 千鶴子

紅萌会の皆様には益々と御健勝にて、社会の各方面で御活躍のこと、存じお慶び申し上げます。母校の天王寺高校定時制は、昭和26年度に発足して以来、着実な歩みを続けて今年度は創立四十周年目を迎えることとなります。この間、大阪府における定通教育の振興に寄せる大方の暖い御理解と御支援のもとに本校もまた勤労青少年のために設けられた高校として、その存在意義を十分高め、多くの人材を育成して社会に送り出してまいりました。

このことは同窓会の皆様と共に輝かしい校風として誇り得るものと存じます。しかしながら近年、社会

紅萌会の厚いご支援を期待

校長 三木 雅文

・経済の変動の中で、定通勤労青少年が在籍生徒に占める割合が低下するなど、厳しい状況が現出しています。全国的に見ますと、ピーク時の昭和29年度には学校数三、二〇八校、生徒数五四万九千二百七十一人と、この現状であります。

おからの中学校卒業者の急減に伴い、定時制志願者が年々減少しており、又九、二、三四人に対して、平成元年度では学校数九五三校、生徒数一五〇、二七一人という現状であります。

当面の課題は、何と云っても現在学んでいる生徒一人一人の教育(学習)ニーズに応える教育内容を日々の教育活動の中で具体化する

ことです。学校の最も重要な課題は学向上と進路保障の2点であり、とりわけ、定通教育における進路保障は在籍生徒の就労率を高め、そして卒業後の完全就職を確保することにあります。

今後、同窓生の皆様に後輩の職場開拓の面で御援助をいただければ幸いです。

母校の教育振興はもとより私と教職員が全員、力を合わせて頑張るものであります。どうか紅萌会の皆様におかれましては本校の存続と発展のため、さらに一段の御支援を賜りますようお願い致します。ご挨拶といたします。

会員と 母校と 事務局を 結ぶ

友情のページ

旧教職員特集

いつもお世話になりありがとうございます。この度の会報で、恩師橋本先生のお元気な様子を知ることが出来まして本当に懐しく、又嬉しく思っております。

是非先生の御住所が知りたく誠にお手数かけて申し訳ございませんが、同封のはがきにてお知らせいたします。

吹田市 松井 栄子⑧

軽い慢性気管支炎と白内陣のため始終神戸大病院に通っておりますが、まづ元気といつてよいと思っております。今年五月八日に妻の父が亡くなり満中陰が五月十四日のため帰郷が休んで十六日から三週間予定を組んでおられるため同窓会には遺憾ながら出席できません。皆様へよろしく伝えて下さい。

神戸市 池本左賀介 (初代専任主事)

大谷女子短大・英語英文学科で勤務しています。紅萌会の発展を祈ります。

奈良市 今中 啓且

いつもご案内いただき有難うございます。只今病氣療養中のため欠席させていただきます。会のご発展とご盛会をお祈りいたします。

岸和田市 松本 岩蔵

体調不良のため欠席させていただきます。ご盛会のほどをお祈りいたしております。

大阪市 小林 孝久

現在、大手前女子大学文学部に居ります。色々調査や研究に忙しい毎日を送っています。

但、時々本当にまれに出会わうららせに、小生が天高で教えた生徒諸君のなかで早や死亡の通知をうけることがあり、歳月の早さというか、なんだか無常感にうたれることのあるこの頃です。

豊中市 塩野 芳夫

いつもご丁寧な案内状をいただき恐縮いたしました。30周年の折には役員の皆様方の大変なご尽力で立派な記念行事ができました。ことをいつもなつかしく、また有難く思っております。

私、定年後の気楽な人生を元気に歩んでおりますが当日は手習い会の発表と重なり欠席させていただきます。紅萌会の益々のご発展をお祈りします。

河内長野市 秋山 計義

現在、府立豊島高校に勤務して数学を教えています。

箕面市 塩見 健造

86年3月に56才になりましたので、大阪府の教員を辞め、念願の自由の身となりました。

89年3月に妻も勤めを辞めましたので4月に神奈川県に移転して現在に至っております。

会員の皆様のご多幸を祈ります。

神奈川県 新井 春夫

役員の皆様まご無沙汰いたしております。長い間会の運営ご苦労さまでございます。いつも会報を送付下さりありがとうございます。

皆さんの近況如何にと見るにつけ過ぎし日々を思い出しながらひたひたりにひたりま

商売で毎日バタバタと走り回っておりますが、気は若くとも身のつかれを感じますがもう数年はと頑張っております。

和泉市 藤野 邦雄

去る5月4、7日は国際学会で大阪国際交流センターにいたのですが21日は次の学会の準備で残念乍ら出席出来ません。

皆様にヨロシクお伝え下さい。

小平市 上坪 英治

今、天理大に勤めていた。この前、中村忠義先生にお会いしました。奈良散策がてら、お立ち寄り下さい。

同窓会当日、催事に関係していただきますので参加できませんので。皆様のご活躍を念じています。

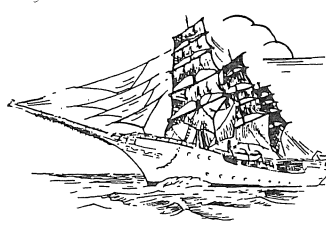
奈良市 中村 宗彦

毎度拝案内頂き、厚く御礼申し上げます。

五月中旬から海外(ヨーロッパ)に参りますので出席できません。悪しからず御諒承下さい。

御盛会を祈ります。

奈良市 竹谷 新



"Hitch your Wagon to a Star!"

人間の誇りと 希望を高く掲げて

進路指導部 出澤 茂

この見出しは、進路指導部「THE DIPPER(北斗星)」の標語です。

皆様の暖いご支援をいただき、一九八九年度に実施した事業の一端をお知らせいたします。

(1) 古村成氏(第七期卒業生)による講演「進路」って何だ、あなたの未来、見えますか」を、11月15日、文化祭記念として実施しました。

「よく整理されていて、わかりやすかった」と、評判です。

その後の生徒面接を通して、「内容を理解し、自分の生き方の参考になっている」、「同窓の先輩による話として素直に受けとめている」などの情況を知ることができました。

(2) 卒業を機会に新しい職に就く生徒が増加しました。このたびは、中小企業同友会外、同窓会にかかわる求人が多く、自己実現を期すことに応える適職に就かせていただきました。

この成果は、ひとえに、同窓生の皆様の暖いご支援によるものと、深く感謝いたします。

さて、前号(紅萌会会報10号)で、次のことをお願いいたしました。

(1) 学習・就職・進学・職業生活・生活設計などについてお話しいただいたり、職場見学などを、お願いすることもございます。そのときには、よろしくお取り計下さい。

(2) 求人をして下さい。

一九九〇年度も、以上のご支援をたまりません。ようお願ひ申し上げます。定時制課程で学業を続けるためには、いろいろな困難を克服していかねければなりません。「職場での人間関係を良好に保つ」ことも、そのひとつです。仕事が終わった後、「仲間とお茶を」もままなりません。

「他の従業員より早く出勤して、清掃し、茶を汲んで待つ」、「親睦会の幹事を進んで勤める」、「日祝日の勤務を引き受ける」など、それぞれ心遣いをしていくようです。

「大志を心の内に深く秘め、顔に出さず、歯をくいしばって頑張る」姿に、敬服させられます。皆様ご自身にも、このような経験が

40周年を期して一層の飛躍を

会長 中村 俊之

発行など皆様方のご協力によりまして取組んでまいりましたのでありますが、今回の40周年記念の取り組みといたしましては、会報の充実、学校への記念品の贈呈、5

ただきたいと思えます。総会を同期会のつなぎの場と考えて、昔のなつかしい友との友情の花を咲かせてみるのもよいのではと思っております。

現在、母校において、校舎の改築計画が具体化され、平成2年度に基本設計を終了し、平成5年度に完成し、平成6年から環境整備工事にかかり、平成7年にはすべて完了するやに聞いております。

古い校舎が無くなるのは少し淋しい感じがしますが、新しい校舎で勉強できるのは、うれしい限りですので、一日も早い完成が望まれます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝、ご活躍と母校の発展をお祈りいたします。ごあいさつといたします。

「在校生の努力が豊かに結実し、同窓生の仲間に加えられる」ことを期して、私共職員も力をつくしたいと存じます。